

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察技術情報について

令和6年度病害虫発生予察技術情報第5号を発表したので送付します。

令和6年度病害虫発生予察技術情報第5号

水稻二期作におけるコブノメイガの防除対策について

水稻二期作において本種による被害が多発する傾向にあります。被害拡大防止のために以下の対策を徹底しましょう。

1 発生生態および被害

- (1) 幼虫は筒状に巻いた葉の中に潜む(図1)。本種の幼虫は多くの場合5齢で終齢となり、終齢幼虫の体長は17~18mm程度。成虫は体長約7~9mm、開長12~18mm(図2)。
- (2) イネ科雑草で越冬し、年7~8回発生する。
- (3) 二期作本田では9~10月頃に最も多くなる。
- (4) 幼虫は表皮を残してかすり状に食害するため、食害痕は白く目立つ(図3、4)。止め葉や上位の葉が被害を受けると光合成能力が低下するため、登熟に影響を与える。

2 防除上注意すべき事項

- (1) 葉色が濃く、過繁茂の場合に被害が多くなる傾向があるため多肥を避ける。
- (2) 二期作のはじめから多発するため、本田移植後から計画的な薬剤防除をする。また二期作は幼虫と成虫が混在するため粒剤と液剤を併用して防除する。
- (3) 農薬の使用にあたっては農薬使用基準(使用時期、使用回数)を遵守する。



図1 コブノメイガ幼虫

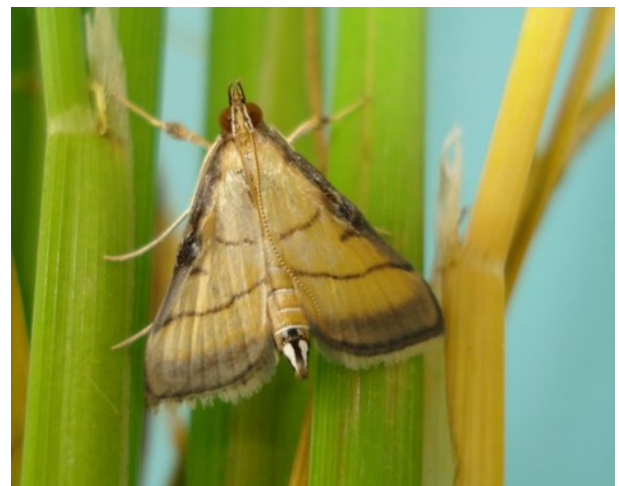


図2 コブノメイガ成虫



図3 幼虫による食害痕



図4 多発時の様子

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★
TEL: (本所)098-886-3880、(宮古駐在)0980-73-2634、(八重山駐在)0980-82-4933
ホームページアドレス:<https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/1010700/index.html>

